

令和元年度
通常総会

日時：令和元年6月27日（木）
16:00～17:00

会場：ノホテル沖縄那覇
B1「ルシエル東」

一般社団法人 那覇市観光協会

令和元年度通常総会

会次第

1 開会のあいさつ 会長 佐久本 武

2 議案審議

第1号議案 平成30年度事業報告(案)……………1～8

第2号議案 平成30年度決算報告(案)……………9～17

監査報告……………18

第3号議案 役員(理事)の選任(案)……………19

3 報告事項

平成31年度事業計画・平成31年度収支予算について……………20～28

4 閉会のあいさつ 副会長 知念 覚

第1号議案

平成30年度事業報告(案)

I 概況

平成30年度の沖縄県の観光入域客数は、999万9,000人で、前年度比104.4%、41万9,100人の増となり、6年連続で過去最高を更新した。その内、国内客は、699万8,200人で、対前年度比101.6% 11万300人の増となり、これについても6年連続で過去最高を更新した。外国客は、300万800人で、対前年度比111.5% 30万8,800人の増となり、11年連続で過去最高を更新し、初の300万人台となった。

平成30年度は、度重なる自然災害や麻しん発生の影響により、年度目標の1,000万人には届かなかったものの、行政や民間が一体となったプロモーション活動により、沖縄の認知度向上や旅行意欲の喚起を図ったことや、離島直行便など国内航空路線の拡充による国内客の増加、海外航空路線の拡充・クルーズ船寄港回数の増による外国客の増などが増加した要因とされている。

一方、平成30年(暦年)に那覇市を訪れた観光客の総数は870万4,727人となった。沖縄県全体では984万2,400人となっており、沖縄県を訪れた観光客の88.4%が那覇市を訪れていると推計される。内訳は、国内客が633万7,113人(72.8%)、外国客が236万7,614人(27.2%)である。なお、平成29年度の外国客比率が26.3%であったことから、外国客の増加が目立っている。

○沖縄県の観光客数(年度)

単位:人

| | 国内客 | 外国客 | 合計 | 備考 |
|--------|-----------|-----------|-----------|--------|
| 平成30年度 | 6,998,200 | 3,000,800 | 9,999,000 | 104.4% |
| 平成29年度 | 6,887,900 | 2,692,000 | 9,579,900 | |

出典:沖縄県入域観光客統計概況

○那覇市の入込観光客数

単位:人

| | 国内客 | 外国客 | 合計 | 備考 |
|--------|-----------|-----------|-----------|----|
| 平成30年 | 6,337,113 | 2,367,614 | 8,704,727 | 暦年 |
| 平成29年度 | 6,224,222 | 2,222,441 | 8,446,663 | 年度 |

出典:那覇市の観光統計(平成30年度版)

Ⅱ 個別事業報告

1. 総務、広報及び協会運営関係

(1) 会員数 424 社(平成 31 年 3 月 31 日現在)

平成 30 年度は、新規に 39 社の加入があったが、廃業等により 28 社が退会し、最終的な会員数は 424 社となった。観光客の受け入れを強化し、那覇市の観光を促進する為には那覇市観光協会の組織強化が必要であり、今後も引き続き会員拡大に取り組む。

(2) 観光情報誌「NAHA-NAVI」の発行

県内会員企業や観光施設・宿泊施設・交通機関などに配布、さらに県外旅行社、修学旅行関係者、学校、沖縄観光コンベンションビューロー県外事務所に配布した。「NAHA-NAVI」は広告収入で維持しており、内容を充実し継続発行するため、会員企業を中心に広告収入拡大を図る必要がある。

- * 一般用「NAHA-NAVI」 年 3 回発行 24 万部発行
- * 修学旅行用「NAHA-NAVI」 年 2 回発行 30 万部発行

| NAHA-NAVI 収支 | | 単位:千円 |
|--------------|-------|-------|
| 広告収入 | 発行経費 | 収 益 |
| 7,880 | 7,164 | 716 |

(3) 那覇市観光協会ホームページ(観光情報サイト 那覇ナビ)の運営

WEBを活用した情報提供が重要となっており、当協会としてもホームページに特集記事を掲載し、イベント情報や会員企業との連携情報の提供に努めた。今後さらに観光客ニーズを捉えた情報発信や会員企業との連携を強化しながらSNS等を活用して情報発信に努める。

(4) 第 43 代那覇観光キャンペーンレディの活動

那覇市の観光親善大使として「那覇観光キャンペーンレディ」を姉妹都市や観光交流都市へ派遣し、市長表敬やイベント会場等での観光パンフレット配布等を通して、那覇の魅力や旬な沖縄の情報発信を行い、那覇市の観光PRに取り組んだ。また、県内においても、三大祭りや公式行事等に参加しながら、年間を通じて効果的かつきめ細やかなプロモーション活動に取り組んだ。

○主な県外の派遣先及び参加イベント

- ・神戸(5/19～21) 第 48 回神戸まつり
- ・金沢(6/1～4) 金沢百万石まつり
- ・東京(6/1～4) 池袋サンシャインシティ沖縄めんそーれフェスタ 2018
- ・東京(7/7～8) めんそ～れ沖縄・那覇デー(東京ドーム)
- ・北九州(8/3～5) わっしょい百万夏まつり
- ・宮崎(10/20～21) 第 41 回飫肥城下まつり

- ・長崎(2/15～17) 長崎ランタンフェスティバル
- ・神奈川(3/16～17) 第41回那覇の物産展

○主な県内の参加イベント

- ・那覇市制施行97周年記念式典、なんみん祭、観光月間キャンペーン 他
- ・那覇の三大祭り(那覇ハーリー、那覇大綱挽まつり)
- ・沖縄国際映画祭、NAHAマラソン、読売巨人軍春季キャンプ 他イベント

2. 観光客の誘客・受入事業

(1) 那覇市観光案内所の運営

日本政府観光局認定のビジットジャパン案内所(カテゴリーⅡ)として、国内外の観光客を迎え那覇市及び沖縄県内の観光地案内、手荷物預かり、車いすの貸し出し、会員店舗のパンフレット配布などの情報発信と受け入れ体制の充実強化に取り組んだ。来所者数は前年を下回り、10万人を超えることが出来なかった。

○平成30年度 那覇市観光案内所来訪者

| | 来訪者数(人) | | 前年度比(%) |
|-----|---------|--------|---------|
| | 平成29年度 | 平成30年度 | |
| 国内客 | 83,148 | 83,007 | 99.8 |
| 外国客 | 16,865 | 13,720 | 81.4 |
| 合計 | 100,013 | 96,727 | 96.7 |

○外国客・国別来訪者数

| 国名 | 来訪者数(人) | 前年度比(%) |
|----------|---------|---------|
| ①台湾 | 3,713 | 80.4 |
| ②中国 | 1,755 | 84.1 |
| ③香港 | 1,174 | 60.7 |
| ④韓国 | 1,063 | 55.2 |
| ⑤アメリカ | 1,032 | 100.8 |
| ⑥フランス | 755 | 100.1 |
| ⑦シンガポール | 726 | 135.2 |
| ⑧ドイツ | 426 | 71.8 |
| ⑨オーストラリア | 373 | 81.3 |
| ⑩タイ | 345 | 70.1 |

*国内客は、入域観光客を反映して、案内所来訪者もほぼ横ばいの見込み。

*外国客の案内所来訪者は韓国、香港、台湾等が落ち込んでいる。

なお、シンガポールは、増加傾向にある。

(2) ショップなはの運営

「ショップなは」では、那覇の物産展 那覇市長賞・優秀賞受賞商品、イベント等の観光資源をキャラクターにした「なは土産」の商品、読売巨人軍応援グッズ、離島をはじめ県内各地のこだわり土産品などを販売し、自主財源確保に取り組んだ。

*平成30年度売上げ 14,659 千円

(3) 観光まちづくり整備事業(那覇まちま〜い)

30年度は相次ぐ台風接近の影響や団体扱い旅行者の減少等により「那覇まちま〜い」への参加者は減少となった。旅行社を通じての団体ツアー参加者の減少が顕著にみられる中で、コース数を調整するなど事業効率を改善に取り組んだ結果、参加人数、売上は減少したが事業効率・運営収支は改善された。今後は、新コースの提案を含めシーズン限定、イベントコース、新たな体験や食べ歩きなどの企画を強化し提案していく必要がある。また、カリスマと言われるガイドの育成に努め、新たな商品開発により、幅広い層の参加者の獲得に努める。

また、修学旅行に関しては、平和学習プログラムとして継承型語り部「朗読劇」を実施するとともに、首里城のガイドのみならず、てんぶす那覇を起点とした3コース(市場、壺屋、ワキミチ)に分散して大規模校にも対応を行った。

①まちま〜い一般コース

*参加者数 11,235 名 (前年度比 75.4%)

*売上金額 11,830 千円 (前年度比 73.9%)

②修学旅行の「那覇まちま〜い」

*「那覇まちま〜い」参加校 10 校 1,690 名

*朗読劇 13 校 2,635 名

(4) 外国人観光客受入整備事業

那覇市は、沖縄観光のゲートウェイとして交通、宿泊、飲食、物販などの中核機能を担っており、観光客数の更なる増加と来訪目的の多様化に伴う受け入れ環境の強化に対応するため、多言語対応職員を配置し取り組んだ。

①企業・店舗語学サポート

会員企業を中心に各企業・店舗に言語サポート要員を派遣し、語学指導を実施。

65 事業所 述べ 687 回サポート(街なかサポートを含む)

②語学講座

土産品店、飲食店、ホテル従業員など観光関連事業所のスタッフに対して、英語、中国語、韓国語の語学講習を実施した。

48 コマの講座を開催 462 名が受講した。

③クルーズ入港時のサポート

クルーズ船入港時に那覇クルーズ促進協議会の要請に応じ、入港岸壁で観光客に対する案内サポートを派遣した。派遣回数 182 回

④外国人観光客の動向調査

国際通りを中心に外国人観光客動向や沖縄観光への意見等のアンケート調査を実施した。

⑤那覇市の各イベントおよび防災対策において通訳補助や表示・案内物の翻訳等を実施した。

(5) クルーズ受入推進事業

那覇クルーズ促進連絡協議会から臨時観光案内所設置運営等の業務を受託し、クルーズ寄港時に若狭クルーズ船ターミナルや安謝新港旅客待合所に臨時観光案内所を開設しながら乗客、乗員への観光案内サービスやタクシー案内等を実施した。対応要員は当協会の外国人観光客受入整備事業のスタッフ及びボランティアガイドが中心になり取り組んだ。

なお、前年度を大きく上回る客数であったが、貨物港(安謝新港)における旅客受け入れのためのインフラ整備、バスやタクシー等の二次交通対策、悪天候時の対策等が急務となっている。

*平成30年度クルーズ船の那覇入港回数 251回(前年度247回)

*同客数 650,449人(前年度546,000人)

(6) 観光クーポン券取扱事業

那覇市の観光・文化財施設である識名園、玉陵、福州園、那覇市歴史博物館、那覇市立壺屋焼物博物館に関し、全国の旅行社とクーポン券取扱契約を締結し、各施設の集客に努め、前年度比119%の増加に繋がった。世界遺産や文化的な史跡を巡る旅行の人气が高まっていることから、引き続き文化施設のPRを強化し集客に努める。

また、旅行形態が団体型から個人型へ変化しており、今後はスマートフォンを活用したクーポン券の受入れを促進し、個人客や外国人観光客などへターゲットを広げ営業活動に努める。さらに、クルーズ客のバスツアーとの連携を強化していく。

*平成29年度 5施設の入場者数 14,405人

*平成30年度 5施設の入場者数 17,154人

3. 自主事業(指定管理受託事業)

(1) 波の上ビーチ広場

那覇市から指定管理業務を受託し、波の上ビーチに隣接する「同広場」の管理・運営を行った。ビーチ利用客および市民、観光客のための売店運営・バーベキュー事業を展開し、多くの市民、観光客に活用していただいた。また、地域との連携を強化し、同施設の清掃業務を地域自治会に委託することで、同エリアの日常的な環境美化に取り組んだ。

○平成 30 年度 波の上ビーチ広場 管理・運営収支

単位:千円

| | | |
|------|--------|-----------------------|
| 管 理 | | |
| 収 入 | 7,822 | 管理委託料、シャワー収入、他 |
| 支 出 | 9,918 | 賃金、備品代、修繕、清掃、保険、他 |
| 損 益 | △2,096 | |
| 自主事業 | | |
| 収 入 | 14,389 | 売店、バーベキュー、コインロッカー売上 他 |
| 支 出 | 11,641 | 賃金、仕入、備品、消耗品 他 |
| 損 益 | 2,748 | |
| 合計損益 | 652 | 収益の 1/2 は那覇市に返納 |

(2) 松山公園文化交流施設

那覇市から指定管理業務を受託し 3 年目を迎え、福州園、クニンダテラス、松山公園駐車場の管理運営に取り組んだ。今年度は度重なる台風の襲来や、外国人団体観光客の減少等により福州園入園者は前年度比マイナスとなった。

自主事業においては、通年で実施を予定していた福州園ライトアップについて、那覇市福州園再整備事業に係る状況の変化等により上期にて一旦終了とし、下期は夜間貸し切りパーティー、イベントなどアフターMICE 活用に取り組んだ。

*平成 30 年度 福州園入園者数 54,456 人(前年度比 90.4%)

○平成 30 年度 松山公園文化交流施設収支

単位:千円

| | | |
|-------|--------|----------------------|
| 歳 入 | | |
| 指定管理料 | 20,400 | 指定管理料、修繕費 |
| 利用料金 | 14,742 | 福州園入園料、飲食店手数料 他 |
| 自主事業 | 6,859 | 駐車場、イベント収入 |
| 合 計 | 42,001 | |
| 歳 出 | | |
| 固定費 | 14,606 | 人件費、光熱費、宣伝費、事務費、租税公課 |
| 一般事業 | 25,172 | 清掃、整備、ごみ処理、修繕 |
| 自主事業 | 2,855 | イベント設営、運営、管理費 |
| 合 計 | 42,633 | |
| 収支合計 | △632 | |

4. イベント事業

那覇市には琉球王国に由来する文化や行事が数多くあり、那覇三大祭である那覇ハーリー、那覇大綱挽、琉球王朝祭り首里などの伝統的な祭りの他、沖縄国際映画祭など参加型のイベントに取り組んだ。また、県内では冬場の温暖な気候を生かした、プロ野球やサッカーのキャンプをはじめとするスポーツイベント等も数多く開催されており、伝統、歴史、文化、スポーツ等様々なテーマで繰り広げられるイベントを、当該実行委員会や関係団体と連携して取り組み、伝統文化の継承発展及びMICE効果の誘発に取り組んだ。

(1) 島ぜんぶでおーきな祭「第10回沖縄国際映画祭」 4月19日(木)～4月22日(日)

今開催は、離島を含む12市町村24会場と過去最大の規模に成長。前夜祭を含む4日間の開催を通し、各会場で集客数のアップに繋がった。当協会は沖縄国際映画祭「なは応援団」の事務局を担い、レッドカーペットでのPRをはじめ映画祭関連事業に取り組んだ。

*実績 集客約25万人

(2) 第44回「那覇ハーリー」 5月3日(木)～5月5日(土)

当協会は歴史と伝統のある「那覇ハーリー」の実行委員会構成団体として事務局業務を所管している。那覇爬龍船振興会等の関係団体と協力し多くの県民、観光客に楽しんでもらえるよう取り組んだ。悪天候により3日午後の爬龍船競争は中止となった。

*実績 集客約16万4千人来場(3日間)

(3) 第48回「那覇大綱挽まつり」 10月6日(土)～10月8日(月)

「那覇大綱挽まつり」の実行委員会構成団体として、「市民演芸・民俗伝統芸能パレード」を主管している。那覇大綱挽保存会や関係団体等と協力し多くの県民、観光客に楽しんでもらえるよう取り組んだ。

*実績 集客約31万8千人(イベント全体)

*10月6日(土)「市民演芸・民俗伝統芸能パレード」 約4万8千人

*10月7日(日)「那覇大綱挽まつり」 約27万人

*10月6日(土)～8日(月)「RBC市民フェスティバル」

※台風接近により会場設営が間に合わない為中止

(4) 第53回「琉球王朝まつり首里」 11月3日(土)

「琉球王朝まつり首里」は琉球王朝の栄華を伝えるまつりとして、首里振興会が主体となって実行委員会方式で実施されており、関連イベントを含め例年多くの誘客に繋がっている。第53回は残念ながら雨天のため中止となった。

(5) 第 34 回 NAHA マラソン 12 月 2 日(日)

NAHA マラソンは、那覇市、南部広域市町村圏事務組合等を構成団体とする実行委員会が開催しており、当協会は構成団体の一員となっている。例年約 3 万人がエントリーし、県外・海外から約 1 万 1 千人が参加する冬場の誘客イベントである。経済波及効果が大きいイベントであり、関係団体と協力してNAHAマラソンの円滑かつ安全な実施と誘客の促進に取り組んだ。

*実績 28,395 人エントリー(県外・国外 11,169 人、県内 17,226 人)

(6) プロ野球「読売巨人軍春季キャンプ」 2 月 1 日(金)～2 月 28 日(木)

読売巨人軍那覇協力会の一員として、会員企業、店舗に呼びかけ積極的に協力会の会員確保とキャンプのPRに取り組んだ。また、那覇キャンプオリジナルかりゆしウェア琉球ガラス等のオリジナル・ジャイアンツグッズの製作・販売に取り組んだ。

プロ野球のキャンプは、冬場の温暖な気候を生かしたスポーツイベントとして県全体における経済波及効果も大きいことから、引き続き協力会業務の充実・強化に取り組む。

*三軍キャンプ 2 月 1 日(金)～11 日(月)

*一軍キャンプ 2 月 13 日(水)～28 日(木)

*観客数 約 12 万人(2/1～2/28)

決 算 報 告 書

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日

一般社団法人 那覇市観光協会

貸 借 対 照 表

平成 31 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人 那覇市観光協会

事業名：事業全体

(単位：円)

| 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|------------------------|--------------|--------------|------------|
| I 資 産 の 部 | | | |
| 流 動 資 産 | | | |
| 現 金 預 金 | 20,604,792 | 21,561,926 | △957,134 |
| 現 金 | 516,636 | 666,636 | △150,000 |
| 普 通 預 金 | 20,088,156 | 20,895,290 | △807,134 |
| 未 収 入 金 | 7,133,067 | 9,752,673 | △2,619,606 |
| 未 前 払 金 | 18,000 | 18,000 | |
| 商 品 | 1,428,527 | 2,074,548 | △646,021 |
| 立 替 金 | 625,794 | 390,985 | 234,809 |
| 仮 払 金 | 58,178 | 336,131 | △277,953 |
| 流動資産合計 | 29,868,358 | 34,134,263 | △4,265,905 |
| 固 定 資 産 | | | |
| 特 定 資 産 | | | |
| 退職給付引当定期預金 | 13,153,849 | 13,151,065 | 2,784 |
| 観光振興特別事業定期預金 | 9,007,988 | 9,006,081 | 1,907 |
| 特定資産合計 | 22,161,837 | 22,157,146 | 4,691 |
| その他固定資産 | | | |
| 什 器 備 品 | 2,100,034 | 2,546,403 | △446,369 |
| 保 証 金 | 594,953 | 594,953 | |
| その他固定資産合計 | 2,694,987 | 3,141,356 | △446,369 |
| 固定資産合計 | 24,856,824 | 25,298,502 | △441,678 |
| 資産合計 | 54,725,182 | 59,432,765 | △4,707,583 |
| II 負 債 の 部 | | | |
| 流 動 負 債 | | | |
| 未 前 払 金 | 7,253,701 | 10,484,625 | △3,230,924 |
| 未 前 受 金 | 3,171,500 | 3,146,500 | 25,000 |
| 預 り 金 | 1,556,214 | 1,878,099 | △321,885 |
| 未 払 費 用 | 10,827,265 | 10,988,748 | △161,483 |
| 未 払 消 費 税 等 | 1,533,800 | 4,296,600 | △2,762,800 |
| 未 払 法 人 税 等 | 70,000 | 70,000 | |
| 流動負債合計 | 24,412,480 | 30,864,572 | △6,452,092 |
| 固 定 負 債 | | | |
| 退職給付引当金 | 13,153,849 | 13,151,065 | 2,784 |
| 受 入 保 証 金 | 1,000,000 | 1,000,000 | |
| 固定負債合計 | 14,153,849 | 14,151,065 | 2,784 |
| 負債合計 | 38,566,329 | 45,015,637 | △6,449,308 |
| III 正 味 財 産 の 部 | | | |
| 一 般 正 味 財 産 | 16,158,853 | 14,417,128 | 1,741,725 |
| (うち特定資産への充当額) | (9,007,988) | (9,006,081) | (1,907) |
| 正味財産合計 | 16,158,853 | 14,417,128 | 1,741,725 |
| 負債及び正味財産合計 | 54,725,182 | 59,432,765 | △4,707,583 |

正味財産増減計算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人 那覇市観光協会

事業名：事業全体

（単位： 円）

| 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|--------------|-------------|-------------|-------------|
| I 一般正味財産増減の部 | | | |
| 經常増減の部 | | | |
| 經常収益 | | | |
| 特定資産運用益 | 4,691 | 5,566 | △875 |
| 特定資産受取利息 | 4,691 | 5,566 | △875 |
| 受取会費 | 14,728,500 | 14,364,000 | 364,500 |
| 受取会費 | 14,728,500 | 14,364,000 | 364,500 |
| 事業収益 | 88,151,624 | 90,524,266 | △2,372,642 |
| 広告収益 | 9,152,000 | 9,190,000 | △38,000 |
| シャワー使用料収益 | 2,021,528 | 2,143,339 | △121,811 |
| 公園使用料収益 | 481,541 | 368,463 | 113,078 |
| 旅行業手数料収益 | 23,192,319 | 29,524,074 | △6,331,755 |
| 自動販売機取扱収益 | 1,537,040 | 1,278,438 | 258,602 |
| 売店売上収益 | 30,199,552 | 29,199,589 | 999,963 |
| 手数料収益 | 5,218,558 | 4,207,472 | 1,011,086 |
| 物品販売収益 | 4,314,840 | 3,785,700 | 529,140 |
| コインロッカー収益 | 923,120 | 919,320 | 3,800 |
| 駐車場収益 | 5,886,000 | 4,968,000 | 918,000 |
| 家賃収益 | 5,225,126 | 4,939,871 | 285,255 |
| 受取補助金等 | 81,542,376 | 78,001,450 | 3,540,926 |
| 受取補助金 | 81,542,376 | 78,001,450 | 3,540,926 |
| 事業受託収益 | 74,188,965 | 80,135,325 | △5,946,360 |
| 事業受託収益 | 74,188,965 | 80,135,325 | △5,946,360 |
| 受取寄付金 | 1,056,000 | 1,228,000 | △172,000 |
| 受取寄付金 | 1,056,000 | 1,228,000 | △172,000 |
| 雑収益 | 860,775 | 410,744 | 450,031 |
| 受取利息 | 321 | 295 | 26 |
| 雑収益 | 860,454 | 410,449 | 450,005 |
| 經常収益計 | 260,532,931 | 264,669,351 | △4,136,420 |
| 經常費用 | | | |
| 事業費 | 210,269,509 | 223,024,706 | △12,755,197 |
| 売店事業費 | 19,521,880 | 17,776,428 | 1,745,452 |
| 物品販売事業費 | 3,811,066 | 4,855,575 | △1,044,509 |
| 仕入 | 770,100 | 1,013,482 | △243,382 |
| 賃金 | 64,600,636 | 70,340,643 | △5,740,007 |
| 法定福利費 | 7,959,306 | 7,878,545 | 80,761 |
| 福利厚生費 | 279,398 | 352,656 | △73,258 |
| 報償費 | 9,911,500 | 12,307,050 | △2,395,550 |
| 旅費交通費 | 5,477,927 | 6,052,545 | △574,618 |
| 通信搬却費 | 2,615,334 | 2,583,682 | 31,652 |
| 減価償却費 | 672,580 | 533,601 | 138,979 |
| 消耗品費 | 4,789,832 | 4,123,647 | 666,185 |
| 修繕費 | 3,547,368 | 4,936,636 | △1,389,268 |
| 印刷製本費 | 6,212,603 | 5,071,526 | 1,141,077 |
| 燃料費 | 59,657 | 50,546 | 9,111 |
| 光熱水料費 | 10,445,409 | 10,630,533 | △185,124 |
| 広告料 | 4,300,319 | 4,656,303 | △355,984 |
| 賃借料 | 10,792,228 | 11,433,513 | △641,285 |
| 食糧費 | 236,718 | 245,081 | △8,363 |
| 保険料 | 1,097,431 | 1,059,689 | 37,742 |
| 交際費 | 159,400 | 259,875 | △100,475 |
| 租税公課 | 5,988,328 | 5,980,500 | 7,828 |
| 負担金 | 128,000 | 128,000 | |
| 手数料 | 1,110,888 | 1,498,263 | △387,375 |

正味財産増減計算書

平成30年 4月 1日から平成31年 3月31日（決算）まで

法人名：一般社団法人 那覇市観光協会

事業名：事業全体

（単位：円）

| 科 目 | 当 年 度 | 前 年 度 | 増 減 |
|-----------------|-------------|-------------|------------|
| 被服費 | 480,000 | 480,000 | |
| 委託費 | 44,305,282 | 48,308,303 | △4,003,021 |
| 接遇研修費 | 548,788 | 366,368 | 182,420 |
| 図書管理費 | 4,546 | 1,836 | 2,710 |
| 事務管理費 | | 49,088 | △49,088 |
| 地域還元費 | 79,100 | 44,960 | 34,140 |
| 雑費 | 363,885 | 5,832 | 358,053 |
| 管理費 | 48,451,697 | 40,134,078 | 8,317,619 |
| 給料手当 | 25,352,600 | 21,153,258 | 4,199,342 |
| 諸手当 | 8,149,352 | 6,619,092 | 1,530,260 |
| 法定福利費 | 7,279,754 | 5,421,989 | 1,857,765 |
| 中退金掛金 | 372,000 | 402,000 | △30,000 |
| 退職給付費用 | 2,784 | 3,659 | △875 |
| 福利厚生費 | 695,378 | 366,433 | 328,945 |
| 委託料 | 29,160 | 32,400 | △3,240 |
| 旅費交通費 | 478,740 | 333,770 | 144,970 |
| 通信搬却費 | 747,826 | 627,510 | 120,316 |
| 減価償却費 | 311,629 | 207,405 | 104,224 |
| 消耗品費 | 1,005,140 | 945,216 | 59,924 |
| 修繕費 | | 20,000 | △20,000 |
| 印刷製本費 | 135,702 | 20,196 | 115,506 |
| 燃料費 | 87,216 | 78,456 | 8,760 |
| 光熱水料費 | 617,490 | 613,132 | 4,358 |
| 賃借料 | 1,817,455 | 1,872,016 | △54,561 |
| 保険料 | 148,735 | 121,250 | 27,485 |
| 手数料 | 56,236 | 56,222 | 14 |
| 租税公課 | 102,279 | 53,465 | 48,814 |
| 負担金 | 310,500 | 305,500 | 5,000 |
| 諸雑費 | | 40,824 | △40,824 |
| 総会議費 | 486,657 | 578,665 | △92,008 |
| 経常費用計 | 265,064 | 261,620 | 3,444 |
| 経常費用計 | 258,721,206 | 263,158,784 | △4,437,578 |
| 評価損益等調整前当期経常増減額 | 1,811,725 | 1,510,567 | 301,158 |
| 評価損益等計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常増減額 | 1,811,725 | 1,510,567 | 301,158 |
| 経常外増減の部 | | | |
| 経常外収益 | | | |
| 経常外収益計 | 0 | 0 | 0 |
| 経常外費用 | | | |
| 経常外費用計 | 0 | 0 | 0 |
| 当期経常外増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 税引前当期一般正味財産増減額 | 1,811,725 | 1,510,567 | 301,158 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 70,000 | 70,000 | |
| 当期一般正味財産増減額 | 1,741,725 | 1,440,567 | 301,158 |
| 一般正味財産期首残高 | 14,417,128 | 12,976,561 | 1,440,567 |
| 一般正味財産期末残高 | 16,158,853 | 14,417,128 | 1,741,725 |
| II 指定正味財産増減の部 | | | |
| 当期指定正味財産増減額 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期首残高 | 0 | 0 | 0 |
| 指定正味財産期末残高 | 0 | 0 | 0 |
| III 正味財産期末残高 | 16,158,853 | 14,417,128 | 1,741,725 |

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人 那覇市観光協会
事業名：事業全体

1. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・・・定率法によっている。

(2) 引当金の計上基準

退職給付引当金・・・職員の退職給付に備えるため、計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税の会計処理は税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 |
|--------------|------------|-------|-------|------------|
| 特定資産 | | 0 | 0 | |
| 退職給付引当定期預金 | 13,151,065 | 2,784 | 0 | 13,153,849 |
| 観光振興特別事業定期預金 | 9,006,081 | 1,907 | 0 | 9,007,988 |
| 合 計 | 22,157,146 | 4,691 | 0 | 22,161,837 |

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 当期末残高 | (うち指定正味財 産からの充当額) | (うち一般正味財 産からの充当額) | (うち負債に 対応する額) |
|--------------|------------|----------------------|----------------------|------------------|
| 特定資産 | | | | |
| 退職給付引当定期預金 | 13,153,849 | (0) | (0) | (13,153,849) |
| 観光振興特別事業定期預金 | 9,007,988 | (0) | (9,007,988) | (0) |
| 合 計 | 22,161,837 | (0) | (9,007,988) | (13,153,849) |

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 科 目 | 取得価額 | 減価償却累計額 | 当期末残高 |
|------|-----------|-----------|-----------|
| 什器備品 | 8,489,908 | 6,389,874 | 2,100,034 |
| 合 計 | 8,489,908 | 6,389,874 | 2,100,034 |

財務諸表に対する注記

法人名：一般社団法人 那覇市観光協会
事業名：事業全体

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高
補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

| 補助金等の名称 | 交付者 | 前期末残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | 当期末残高 | 貸借対照表上の記載区分 |
|---------------------|-----|------------|-----------|---------|------------|-------------|
| 平成30年度那覇市観光振興事業費補助金 | 那覇市 | 30,000,000 | 3,000,000 | 0 | 33,000,000 | |
| 平成30年度那覇市観光振興事業費補助金 | 那覇市 | 30,000,000 | 0 | 0 | 30,000,000 | |
| 平成30年度那覇市観光振興事業費補助金 | 那覇市 | 1,452,000 | 1,074,000 | 0 | 2,526,000 | |
| 平成30年度那覇市観光振興事業費補助金 | 那覇市 | 16,549,450 | 0 | 533,074 | 16,016,376 | |
| 合 計 | | 78,001,450 | 4,074,000 | 533,074 | 81,542,376 | |

附属明細書

法人名：一般社団法人 那覇市観光協会
事業名：事業全体

1. 基本財産及び特定資産の明細

(単位：円)

| 区分 | 資産の種類 | 期首帳簿価額 | 当期増加額 | 当期減少額 | 期末帳簿価額 |
|------|--------------|------------|-------|-------|------------|
| 特定資産 | | | 0 | 0 | |
| | 退職給付引当定期預金 | 13,151,065 | 2,784 | 0 | 13,153,849 |
| | 観光振興特別事業定期預金 | 9,006,081 | 1,907 | 0 | 9,007,988 |

2. 引当金の明細

(単位：円)

| 科目 | 期首残高 | 当期増加額 | 当期減少額 | | 期末残高 |
|---------|------------|-------|-------|-----|------------|
| | | | 目的使用 | その他 | |
| 退職給付引当金 | 13,151,065 | 2,784 | 0 | 0 | 13,153,849 |

財 産 目 録

平成 31 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人 那覇市観光協会

事業名：事業全体

(単位： 円)

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 | |
|--------------------|--------------|----------------------|--------------------------|------------|
| (流 動 資 産) | | | | |
| 現 通 預 金 | 手元保管 | 運転資金として | 516,636 | |
| | 琉銀 | 運転資金として | 4,214,271 | |
| | 沖銀 | 〃 | 3,889,618 | |
| | 海銀 | 〃 | 460,924 | |
| | 沖銀 | 〃 | 1,322,226 | |
| | 沖銀 | 〃 | 486,662 | |
| | 沖銀 | 〃 | 1,659,384 | |
| | 琉銀 | 〃 | 400,567 | |
| | 沖銀 | 〃 | 2,067,647 | |
| | 海銀 | 〃 | 293,477 | |
| | 沖銀 | 〃 | 143,348 | |
| | 沖銀 | 〃 | 48,643 | |
| | 沖銀 | 〃 | 23,712 | |
| | 沖銀 | 〃 | 445,355 | |
| | 沖銀 | 〃 | 268,446 | |
| | 沖銀 | 〃 | 701,915 | |
| | 沖銀 | 〃 | 899,536 | |
| | 沖銀 | 〃 | 939,043 | |
| | 沖銀 | 〃 | 1,717,050 | |
| | 未 収 入 金 | ゆうちょ | 〃 | 106,332 |
| 外国人観光客受入整 | | 外国人観光客受入整備事業受託金 | 2,016,344 | |
| 松山公園福州園 | | 出店契約料、鯉の餌販売手数料他 | 1,657,294 | |
| 案内所物品販売 | | OKICA販売手数料、車椅子レンタル料他 | 866,274 | |
| NAHA NAVI | | NAHA NAVI広告費 | 657,600 | |
| 修学旅行事業他 | | 3月分観光案内マイライフ売上他 | 580,893 | |
| まちづくり整備事業 | | 3月分観光案内がド売上他 | 401,352 | |
| ショッピングなは | | 3月分売上他 | 346,630 | |
| 波の上広場どーい売店 | | 自動販売機手数料 | 86,486 | |
| その他事業 | | 那覇のまつり支援事業受託金他 | 520,194 | |
| 前 払 金 | | てんぷす駐車場 | 契約駐車場料 | 18,000 |
| | | ショッピングなは | 3月末棚卸高 | 1,428,527 |
| | | 観光券クーポン事業 | 観光券入園料立替分 | 174,149 |
| | | 波の上どーい広場収益 | 3月分電気料立替分他 | 78,340 |
| | | まちまーい協議会 | 電話料立替分 | 48,499 |
| | まちづくり整備事業 | コース参加仕立立替分 | 42,490 | |
| | 外国人観光客受入整 | 銀行振込立替分 | 29,304 | |
| | その他事業 | 会場使用料、旅費他 | 253,012 | |
| 仮 払 金 | 事務局管理 | 3月分仮払金戻し分 | 58,178 | |
| | | | | |
| 流 動 資 産 合 計 | | | 29,868,358 | |
| (固 定 資 産) | | | | |
| 特 定 資 産 | | | | |
| そ の 他 固 定 資 産 | 退職給付引当定期預金 | 従業員に対するもの | 従業員6名に対する退職金の支払いに備えたもの。 | 13,153,849 |
| | 観光振興特別事業定期預金 | 観光振興特別事業に | 観光振興事業に備えたもの。 | 9,007,988 |
| | 什 器 備 品 | テント等 | 収益目的保有財産であり、収益事業に使用している。 | 1,322,787 |
| | | 自動発券機 | 公益目的保有財産であり、公益事業に使用している。 | 338,007 |
| 電話設備一式 | | 法人目的保有財産であり、法人事業 | 439,240 | |

財 産 目 録

平成 31 年 3 月 31 日現在 (決算)

法人名：一般社団法人 那覇市観光協会

事業名：事業全体

(単位： 円)

| 貸借対照表科目 | 場所・物量等 | 使用目的等 | 金額 |
|---------|---|---|---|
| 保証金 | セコム琉球 | に使用している。 公益目的保有財産であり、公益事業 に使用している。 | 594,953 |
| 固定資産合計 | | | 24,856,824 |
| 資産合計 | | | 54,725,182 |
| (流動負債) | | | |
| 未払金 | 松山公園福州園 波の上ビーチ広場公益 ショップなほ まちづくり整備事業 クルーズ促進事業 波の上ビーチ広場収益 案内所物品販売 外国観光客受入整備 観光案内所 | 3月分修繕費・電気料・広告料他 清掃委託料、電気料他 3月分商品仕入、POS保守料 ガイド報酬、広告料他 ボランティア交通費他 ガーデンテーブル購入料他 車椅子レンタル料、チケット販売料他 コピー機カウンター料、電話料他 電話料、郵送料他 | 2,907,517 1,628,756 654,811 599,563 428,811 375,360 354,918 200,976 102,989 |
| 前受金 | 会員 従業員からの預か金 従業員からの預か金 従業員からの預か金 那覇観光キャンペーンディ その他事業 | 平成30年度会費 社会保険料 源泉所得税 住民税 報償費にかかるとる源泉所得税 アドバイザー派遣費他 | 3,171,500 998,012 178,524 88,438 67,091 224,149 |
| 未払費用 | 従業員に対するもの 従業員に対するもの | 給料 社会保険料 | 8,619,281 2,207,984 |
| 未払消費税等 | 那覇税務署 | 当期納付額 | 1,533,800 |
| 未払法人税等 | 那覇税務署等 | 当期納付額 | 70,000 |
| 流動負債合計 | | | 24,412,480 |
| (固定負債) | | | |
| 退職給付引当金 | 従業員に対するもの | 従業員6名に対する退職金の支払い に備えたもの。 | 13,153,849 |
| 受入保証金 | 株輪っしょい | クニンダテラス出店保証金 | 1,000,000 |
| 固定負債合計 | | | 14,153,849 |
| 負債合計 | | | 38,566,329 |
| 正味財産 | | | 16,158,853 |

令和元年5月23日

一般社団法人那覇市観光協会
会長 佐久本 武 殿

監 査 報 告

一般社団法人那覇市観光協会

監事 浦崎 政之

監事 普久原 啓之



平成30年4月1日から平成31年3月31日までの平成30年度事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決済文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から職務の執行状況等について報告を受け、随時説明を求めました。

2 監査の結果

- (1) 事業報告及び附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

那覇市観光協会理事候補者(案)

令和元年6月27日～令和3年6月通常総会まで(2年間)

| | 変更案 | 氏名 | 会社・団体名等 | 役職 |
|----|-----|---------------------|-------------------|---------------------|
| 1 | 再任 | サクモト 篤 佐久本 武 | 瑞泉酒造株式会社 | 蔵元 |
| 2 | 再任 | チネン 覚 知念 覚 | 那覇市役所 | 副市長 |
| 3 | 再任 | ミヤザト 由紀子 宮里 由紀子 | エキスティックエピセンター株式会社 | 取締役 |
| 4 | 再任 | ナカモト ユカ 名嘉元 裕 | 那覇市役所 | 経済観光部長 |
| 5 | 再任 | ワタナベ カツマ 渡部 勝磨 | 日本航空株式会社 沖縄支店 | 支店長 |
| 6 | 新任 | イグチ オサム 井口 治 | 全日本空輸株式会社 沖縄支社 | 支社長 |
| 7 | 再任 | ハテルマ ヒロミツ 波照間 弘光 | 日本トランスオーシャン航空株式会社 | 販売推進部長 |
| 8 | 新任 | ウラサキ ショウ 浦崎 唯昭 | 一般社団法人那覇爬龍船振興会 | 会長 |
| 9 | 再任 | トヤマ サン 當山 智士 | 一般社団法人沖縄県ホテル協会 | 会長 |
| 10 | 再任 | ミヤザト 一郎 宮里 一郎 | 沖縄県ホテル旅館生活衛生同業組合 | 理事長 |
| 11 | 新任 | ウエマ マサミチ 上間 正達 | 琉球放送株式会社 | 常務取締役 |
| 12 | 再任 | アカネ ヒデキ 赤嶺 秀喜 | 沖縄テレビ放送株式会社 | 常務取締役 |
| 13 | 再任 | イソノ 均 石底 均 | 琉球朝日放送株式会社 | 取締役 総務・労務担当 総務局長 |
| 14 | 再任 | モリタ アキラ 森田 明 | 株式会社ラジオ沖縄 | 代表取締役社長 |
| 15 | 再任 | イトカズ アツシ 糸数 淳 | 株式会社琉球新報社 | 専務取締役 |
| 16 | 再任 | スクヤマ ヒデヒコ 瑞慶山 秀彦 | 株式会社沖縄タイムス社 | 専務取締役 |
| 17 | 再任 | マキヤ ミル 真喜屋 稔 | 那覇市国際通り商店街振興組合連合会 | 副理事長 |
| 18 | 再任 | ヒガシ ヨシカズ 東 良和 | 沖縄ツーリスト株式会社 | 代表取締役会長 |
| 19 | 再任 | チウテン セツメイ 張陳 雪貞 | 合同会社清光商事 御食事処ツバメ | 代表取締役社長 |

平成 31 年度事業計画

1. はじめに

沖縄県の発表によると、平成 30 年(2018 年)暦年の入域観光客数は 984 万 2,400 人で、前年比 104.7%、+44 万 6,200 人となり、度重なる自然災害や麻しん発生の影響があったものの、5 年連続で国内客・外国客ともに過去最高を更新した。

国内客は、過去最高の 693 万 8,600 人で、前年比 101.2%となった。外国客については 290 万 3,800 人で、前年比 114.2% +36 万 1,600 人となった。前年と比べて入域観光客数が増加した要因としては、行政や民間が一体となったプロモーション活動により、沖縄の認知度向上や旅行意欲の喚起を図ったこと、国内航空路線の拡充による国内客の増加、東南アジア方面などの海外航空路線の拡充、クルーズ船寄港回数の増(528 回前年+13 回)による外国客の増加等があるとされている。

沖縄県観光振興基本計画(第 5 次)では、平成 33 年度(2021 年度)までの目標は、観光収入 1 兆 1,000 億円、観光客一人当たり消費額 93,000 円、平均滞在日数 4.5 日、延べ宿泊者数、4,200 万人泊、入域観光客数 1,200 万人が掲げられており、入域観光客数の内訳では、国内客 800 万人、外国人観光客 400 万人(空路・海路ともに 200 万人)となっている。

沖縄県及び沖縄観光コンベンションビューロー(以下、OCVB)では、これらの目標を達成するために、沖縄への玄関口である空路・海路ともに既存就航路線需要の拡充や新規路線需要の獲得、観光客の目的や視線に沿った誘客プロモーションの強化や受入体制の更なる整備など、官民一体となった各種事業を展開しているところである。

なお、平成 29 年度の実績では、入域観光客数は 958 万人、観光収入は 6,979 億 2,400 万と増加したが、観光客一人当たりの消費額は 72,853 円、前年度比 96.8%となっている。

次に、那覇市観光基本計画(平成 27 年 6 月策定)では、計画最終年度(平成 36 年度)の目標値として、観光収入 4,500 億円、観光客一人当たり市内消費額 90,000 円、延べ市内宿泊客数 1,300 万人泊を掲げている。平成 29 年度実績では、観光収入 3,406 億円で前年度比 106.9%、観光客一人当たり市内消費額 75,295 円で同 103.1%、29 年(暦年)の入域観光客数は 827 万 8,917 人、市内宿泊客数 679 万人泊で前年比 106.6%)となっている。

なお、観光客一人当たり市内消費額、延べ市内宿泊数を伸ばしていく方策が継続的な課題と考えており、行政や OCVB 等の関係機関とこのことを共有しながら、連携して取り組みを強化していく必要がある。

平成 31 年度は、多様化する観光客の動向の変化、外国人観光客の増加に対応すべく那覇市及び関係機関と連携しながら誘客宣伝事業の展開及び環境美化や観光危機管理等の受け入れ体制整備を推進するとともに、多様なイベントの開催などによる MICE 効果の

拡大など、伝統文化の継承と地域経済の活性化に取り組む。

また、日本遺産プロジェクトや地域 DMOの登録に向けた取組を進めるとともに、観光協会ホームページのリニューアルによる情報発信の充実強化を重点事業として取り組むほか、引き続き、那覇市観光案内所の運営をはじめ、観光まちづくり整備事業(那覇まちま〜い)や外国人観光客受入整備事業等、安全・安心・快適な観光地としての取り組みの充実・強化を図るべく、各種事業を次のとおり実施するものとする。

I 総務、広報及び協会運営関係

1. 那覇市観光協会の会員拡大と組織の強化事業
2. 観光情報誌「NAHA-NAVI」発行事業
3. 観光情報サイト「那覇ナビ」運営事業(那覇市観光協会ホームページ)
4. 那覇観光キャンペーンレディ派遣事業
5. 「ショップなは」運営事業

II 観光客の誘客・受け入れ事業

1. 「那覇市観光案内所」運営事業
2. 観光まちづくり整備事業(那覇まちま〜い)
3. 外国人観光客受入整備事業
4. クルーズ船受入推進事業
5. 観光クーポン券取扱事業および修学旅行、MICE 誘致事業

III 指定管理受託事業

1. 波の上ビーチ広場管理運営事業
2. 松山公園文化交流施設管理運営事業

V イベント(MICE)事業

1. 島ぜんぶでおーきな祭「第 11 回沖縄国際映画祭」 4 月 18 日(木)～21 日(日)
2. 第 45 回「那覇ハーリー」 5 月 3 日(金)～5 月 5 日(日)
3. 第 49 回「那覇大綱挽まつり」 10 月 12 日(土)～10 月 14 日(月)
4. 第 54 回「琉球王朝まつり首里」 11 月 3 日(日)
5. 第 35 回 NAHA マラソン 12 月 1 日(日)
6. プロ野球「読売巨人軍春季那覇キャンプ」 2020 年 2 月予定

I 総務、広報及び協会運営関係

1. 那覇市観光協会の会員拡大と組織強化事業

那覇市観光協会は、那覇市及びその周辺地域の観光事業の振興を図り、地域文化の向上及び経済の発展向上に寄与し、併せて公益に資することを目的に設立されている。これらの目的に賛同する個人、法人及び団体の会員及び賛助会員の加入拡大を図ることにより、連携して那覇市の観光振興に取り組むとともに、協会の安定的な運営をめざす。

①会員特典の充実を図るとともに、会員企業に対し語学講座等の研修を実施する。

②WEB 上での会員情報共有サイトの充実を図ることにより、会員に有益な情報を提供し、メリットを享受できる取り組みを強化する。

*会員数 438 社（平成 31 年 2 月末現在）

*平成 31 年度目標:450 社

2. 観光情報誌「NAHA-NAVI」発行事業

那覇市内の道路マップや首里城をはじめとする観光名所及び会員店舗案内等を掲載した観光情報誌「NAHA-NAVI」については、観光客や旅行社、修学旅行関係者から好評で全国から送付依頼が多い。「NAHA-NAVI」を継続発行する為、会員企業を中心に広告収入が重要である。誌面の充実とともに広告確保の営業活動を強化する。

①一般用「NAHA-NAVI」の発行 年 3 回発行・年間 24 万部

②修学旅行用「NAHA-NAVI」の発行 年 2 回発行・年間 30 万部

3. 観光情報サイト「那覇ナビ」運営事業（那覇市観光協会ホームページ）

WEB を活用した観光情報提供や他団体、会員企業との情報共有、連携が重要となっており、今年度はホームページのリニューアルを行う。

①観光客のニーズを捉え、利用しやすい内容や常に新しい情報提供を行うシステムの充実を図る。

②那覇市観光協会会員企業との連携を強化し、会員企業情報の提供を行う。

4. 那覇観光キャンペーンレディ派遣事業

那覇市の観光親善大使として「那覇観光キャンペーンレディ」を、姉妹都市や観光交流都市へ派遣し、那覇の魅力や旬な沖縄の情報を発信することで、年間を通じて効果的かつきめ細やかなプロモーションを行い誘客強化を図る。

5. 「ショップなは」運営事業

①「ショップなは」の商品力・販売力強化を図り、那覇市の特産品、地域おこし商品などの販売に取り組む。

*那覇市長賞受賞商品及び県内の地域こだわり商品の販売

*那覇市のイベントや地域おこし商品、「龍柱会議」商品などの販売

- *プロ野球「読売巨人軍」応援グッズの販売
 - ・平成 31 年度目標:15,330 千円(前年比 105%)
 - (平成 30 年度 売上見込み 14,600 千円)

II 観光客の誘客・受け入れ事業

1. 「那覇市観光案内所」運営事業

日本政府観光局認定のビジットジャパン案内所(カテゴリーⅡ)として、増加する外国人観光客のニーズを捉え、対応スタッフの充実を図ることにより、日本人観光客に対しても満足度アップに繋がる情報収集と案内レベルのアップを図る。平成 30 年度の那覇市観光案内所(てんぶす那覇1階)の来訪者見込みは 96,400 人(前年度比 96.4%)のうち外国人観光客は 14,000 人(前年度比 83.0%)と見込まれる。

- ①那覇市内及び県内観光地のパンフレット等の配布及び那覇市観光協会発行「NAHA-NAVI」の配布、全国発送
 - ②那覇市観光協会のホームページをはじめ WEB を活用した那覇市観光情報の発信。
 - ③観光関連団体、会員企業とも連携を強化し、観光客に対するおもてなしサービスの強化を図る。
 - ④手荷物預かり、コインロッカーの運営・管理、ベビーカー、車いすの貸出、観光施設のチケット販売、オキカ(バス・モノレール乗車券)の販売、定期観光バスチケット販売等
 - ⑤県内観光地ツアーの企画・販売、観光関連企業等とのタイアップ企画の委託販売
- *平成 31 年度目標 :100,000 人(前年度比 103.7%)内 外国人観光客 15,000 人(前年比度 107.1%)

2. 観光まちづくり整備事業(那覇まちま〜い)

全国的に着地型観光の重要性と共に多様な着地型商品のラインナップが成熟してきている中で、沖縄観光旅行者は必ず空港、港湾の玄関口である那覇市を滞在することから、「那覇まちま〜い」は、那覇市での滞在時間を有効活用及び那覇市滞在日数の延長を志向している。平成 30 年度においては国土交通省及び観光庁の外郭団体である日本観光振興協会から「第 12 回産業まちづくり大賞」において「特別賞」を受賞し、創立 8 年目にして沖縄で初めての受賞という名誉を獲得しつつ、当該事業の一定の認知度向上が図られた。しかしながら、WEB 等オンライン予約サイトの進展とともに旅行者の旅行形態はこれまでの既存の店舗型旅行社主催のツアーから個人型旅行に急激にシフトしているのが実態であり、個人客及び WEB 系販路への販売促進が重要となっている。

これらを踏まえ平成 31 年度については、現在も変容し続ける旅行者動向に適正な対応をすることを念頭に入れ、「那覇まちま〜い」の体制再構築に取り組む。

- ①催行コース数の見直し及び厳選し、集客の分散を回避しつつ、収益性の改善を図る。
- ②「那覇まちま〜い」をベースとした富裕層向け旅行商品の開発と催行による参加料単

価値の引き上げを志向する。

③流通・販路・観光関係団体とのタイアップ強化

OCVB との連携をはじめ、各旅行社へのアプローチを積極的に行い、加えて那覇市内のホテルとの連携も視野に入れ販路拡大を強化していく。

④修学旅行の誘致強化

OCVB が主催する、沖縄修学旅行フェアへの積極的参加と共に他府県の学校関係者及び旅行社に修学旅行における国際通りでの自由時間の行程の前後に「那覇まちま〜い」による学習プログラムを絡めていくことをアピールしていくこととする。また、海外の教育旅行の誘致についても取り組みを進めて行く。

*平成31年度目標:12,000人(前年度比109%)(まちま〜い参加人数)

3. 外国人観光客受入整備事業

新規路線就航や既存路線の増便、クルーズ船寄港増などで、外国人観光客が順調に伸びていくことが予想される中、那覇市内の宿泊施設、公共交通機関、土産品店、飲食店等に対する言語サポートによる受入れ体制の整備や住民の外国人受入に対する機運向上が更に重要になっている。本事業では、外国語スタッフを配置し、観光案内や事業所へのサポート等を行うことで、外国人観光客の利便性と満足度の向上を図る。

①外国人観光客受入サポート業務

*各種イベントや災害時の対応、会員店舗や事業所へ出向き語学指導や多言語表示支援、クルーズ船入港時の受け入れサポート、多言語マップの作成等

②語学講座、翻訳業務

*外国語講座の実施(英語、中国語、韓国語)、ホームページ等の翻訳業務

③住民(市民)の外国人観光客受入に対する機運向上に関する活動、SNS等を通じた観光情報の発信、アンケート調査の実施等

4. クルーズ船受入推進事業

那覇港へのクルーズ船寄港時において、臨時観光案内所を設置・運営することで、クルーズ船乗客に対し市内及び周辺の観光地等の案内を行い、クルーズ船寄港の増加及び継続の促進に取り組む。本事業は、那覇クルーズ促進連絡協議会(沖縄総合事務局、沖縄県、那覇港管理組合、那覇市、OCVB等)からの受託業務である。

なお、国土交通省の発表によると、2018年(暦年)のクルーズ船の日本港湾への寄港回数は、前年比5.9%増の2,928回(外国船社1,913回、日本船社1,015回)となり、過去最高を記録。港湾別では、第1位:博多港279回(前年第1位:326回)、第2位:那覇港243回(前年第3位:224回)、第3位:長崎港220回(前年第2位:267回)となっている。那覇港へは今後さらに寄港が増えることが予想される事から、那覇クルーズ促進連絡協議会と連携を密にしながら、クルーズで訪れる観光客と那覇市民や地域商店街との接点及び交流する機会を創出し、経済波及効果を高める取り組みを行う。

5. 観光クーポン券取扱事業および修学旅行、MICE 誘致事業

①クーポン券取扱事業

識名園、玉陵、福州園、那覇市歴史博物館、那覇市立壺屋博物館に関し、全国の旅行社とクーポン券取扱契約を締結し、集客に務める。

また、各旅行会社が対応しているスマートフォン等を活用したクーポン券の受入を促進し、個人客の集客にも努める。

②修学旅行、MICE の誘致活動

那覇市の会議場施設、観光地、ホテル等を活用した MICE の誘致、修学旅行の誘致等の更なる活動を促進する。

③保有する「第3種旅行業」資格を活用した企画事業の実施。

観光客ニーズの高い県内観光地ツアーなどを企画また観光関連企業ともタイアップし、各種ツアー等の企画販売、予約販売等の誘客プロモーション強化を図る。

III 指定管理受託事業

1. 波の上ビーチ広場管理運営事業

那覇市唯一のビーチである「波の上ビーチ」に隣接の緑地帯「波の上ビーチ広場」の管理運営業務を那覇市から指定管理者として受託し、市民(県民)や観光客が使いやすい環境の整備、清掃、管理運営を行う。

また、ビーチ売店、緑地帯におけるバーベキューの運営、オフシーズンの各種イベントの企画など、市民や観光客が安全・安心で楽しめる広場として更なる活用に取り組む。

平成 31 年度「波の上ビーチ広場」収支計画(単位=千円)

| | ①管理運営業務 | | ②自主事業(収益事業) | |
|----|---------------------|--------|-----------------|--------|
| 収入 | 管理委託費 利用料金 | 7,900 | バーベキュー、 売店売上 | 16,000 |
| 支出 | 光熱水量費、 清掃委託費、人件費 | 11,300 | 人件費、仕入費 | 12,500 |
| | 損 益 | -3,400 | 損 益 | 3,500 |
| | | | ①+② 損益 | 100 |

2. 松山公園文化交流施設管理運営事業

松山公園文化交流施設(福州園、クニンダテラス、松山公園駐車場)の管理運営業務を那覇市から指定管理者として受託し市民や観光客が使いやすい環境の整備、清掃、運営管理を行う。指定管理者として4年目を迎える今年度は、施設利用者の拡大の為、自治会や那覇市文化協会、各種団体との連携の強化を図るとともに、アフター MICE や音楽祭など、更なる取り組みの強化を図る。

なお、31年度から33年度までの間、福州園の再整備工事が予定されていることから、工事期間中は、来園者の安全管理に配慮しながら、部分公開を行う予定である。

①福州園の入園者拡大に向けて、音楽祭、アフターMICE、フォトウエディング、展示会等、イベントの企画を充実強化し、施設の有効活用、活性化に取り組む。

②那覇まちま～いやクルーズ事業との連携を強化し、福州園、久米探索など歴史と文化や地域資源を活かした観光促進につなげる。

*平成31年度目標:55,000人(前年度比101.8%)

平成31年度「松山公園文化交流施設」収支計画（単位＝千円）

| ①管理運営業務 | | | ②自主事業 | |
|---------|----------|---------|--------|--------|
| 収入 | 管理運営費 | 20,400 | 駐車場収益 | 5,832 |
| | 福州園入園料 | 7,740 | イベント収益 | 500 |
| | 施設利用料 | 556 | 自販機、他 | 250 |
| | 合計 | 28,696 | 飲食店売上 | 4,730 |
| | | | 合計 | 11,312 |
| 支出 | 人件費・管理費 | 6,500 | イベント経費 | 250 |
| | 清掃、補修、広報 | 32,650 | | |
| | 他 | | | |
| | 合計 | 39,150 | 合計 | 250 |
| | 損益 | -10,454 | 損益 | 11,062 |
| | | | ① ② 損益 | 608 |

V イベント事業

那覇市には琉球王国に由来する文化や行事が数多くあり、那覇三大祭である那覇ハーリー、那覇大綱挽、琉球王朝祭り首里などの伝統的な祭りの他、国際通りで開催される一万人エイサーや王朝行列、沖縄国際映画祭など参加型のイベントも増えてきている。また、県内では冬場の温暖な気候を生かした、プロ野球やサッカーのキャンプをはじめとするスポーツイベント等も数多く開催されている。伝統、歴史、文化、スポーツ等様々なテーマで繰り広げられるイベントを、当該実行委員会や関係団体と連携して取り組み、伝統文化の継承発展及びMICE効果の誘発を図る。

1. 島ぜんぶでおーきな祭「第11回沖縄国際映画祭」4月18日(木)～21日(日)

沖縄国際映画祭は沖縄国際映画祭実行委員会が主体となって、沖縄県をはじめ県内41市町村が参加するイベントで、昨年度の第10回大会は、全県での誘客実績約25万人、経済波及効果約80億円と言われており、特に県外や海外向けの訴求効果が高いイベントである。当協会は、沖縄国際映画祭実行委員会の一員として「なは応援団」の事務局を担

っており、レッドカーペットをはじめ、本番前のクリーアップ作戦やなは応援団募集イベントなどの映画祭関連事業に取り組む。

2. 第45回「那覇ハーリー」 5月3日(金)～5月5日(日)

当協会は歴史と伝統ある「那覇ハーリー」の実行委員会構成団体として、実行員会の事務局を所管している。今年度は45回の節目の開催であり、那覇爬龍船振興会等と協力し多くの県民、観光客に楽しんでもらえるよう取り組む。昨年の44回大会は、期間中の3日間で約16万4千人来場しており、市外及び県外等からの更なる誘客を図る。

3. 第49回「那覇大綱挽まつり」 10月12日(土)～10月14日(月)

当協会は「那覇大綱挽まつり」の実行委員会構成団体として、「市民演芸・民俗伝統芸能パレード」を主管している。那覇大綱挽保存会や関係団体等と協力し多くの県民、観光客に楽しんでもらえるよう取り組む。昨年の48回大会は、31万8千人来場しており、引き続き更なる誘客に取り組む。

4. 第54回「琉球王朝まつり首里」 11月3日(日)

「琉球王朝まつり首里」は琉球王朝の栄華を伝えるまつりとして、首里振興会が主体となって実行委員会方式で実施されており、関連イベントを含め例年多くの誘客に繋がっている。当協会は「琉球王朝まつり首里」の実行委員会構成団体として、首里振興会および関係団体と協力してイベントの広報強化に取り組む。

5. 第35回NAHAマラソン 12月1日(日)

NAHAマラソンは、那覇市、南部広域市町村圏事務組合等を構成団体とする実行委員会が開催しており、当協会は構成団体の一員となっている。例年約3万人がエントリーし、県外・海外から約1万1千人が参加する冬場の誘客イベントである。経済波及効果19億7,800万円(32回大会)となっている。引き続き、関係団体と協力してNAHAMアラソンの更なる発展と誘客の促進に取り組む。

6. プロ野球「読売巨人軍春季那覇キャンプ」 2020年2月予定

温暖な気候を生かし、県内各地で誘致されているプロ野球春季キャンプの経済波及効果は全県で109億5,400万円、巨人軍単独では22億3,000万円(いずれも29年)となっており、冬の観光閑散期における誘客に大きく貢献している。

那覇市、那覇商工会議所、那覇市観光協会の三者で構成する、読売巨人軍那覇協力会の事務局の一員として、会員企業や中心商店街の店舗等に協力会加入呼びかけの積極的な取り組みを行う。また、那覇キャンプオリジナルかりゆしウェア、琉球ガラス等のオリジナル・ジャイアンツグッズの製作、販売を行い巨人軍キャンプの支援に取り組む。

平成31年度 収支予算書

自 平成31年4月1日
至 平成32年3月31日

収入の部

(単位:円)

| 費 目 | H31年度予算額 | H30年度予算額 | 増 減 額 |
|---------------------|-------------|-------------|--------------|
| 1 那覇市運営補助金 | 33,000,000 | 30,000,000 | 3,000,000 |
| 2 那覇市事業補助金 | 2,902,000 | 2,633,000 | 269,000 |
| 3 観光案内所運営補助金 | 30,000,000 | 30,000,000 | 0 |
| 4 観光まちづくり整備事業 | 17,000,000 | 19,000,000 | △ 2,000,000 |
| 5 クルーズ船臨時観光案内事業 | 10,919,000 | 13,070,000 | △ 2,151,000 |
| 6 外国人観光客受入整備事業 | 29,046,000 | 27,480,000 | 1,566,000 |
| 7 那覇の祭り支援事業 | 12,937,000 | 12,711,000 | 226,000 |
| 8 【新】観光協会ホームページ強化事業 | 2,700,000 | 0 | 2,700,000 |
| 9 年会費 | 14,900,000 | 14,500,000 | 400,000 |
| 10 観光情報誌 NAHA NAVI | 7,700,000 | 7,650,000 | 50,000 |
| 11 寄付金 | 1,100,000 | 1,250,000 | △ 150,000 |
| 12 まちまーい参加手数料 | 16,100,000 | 17,000,000 | △ 900,000 |
| 13 修学旅行受入事業 | 1,200,000 | 800,000 | 400,000 |
| 14 旅行業観光券取扱事業 | 1,200,000 | 1,200,000 | 0 |
| 15 その他事業 | 3,500,000 | 0 | 3,500,000 |
| 16 松山公園福州園管理事業 | 40,008,000 | 55,294,000 | △ 15,286,000 |
| 17 波の上ビーチ広場管理事業 | 23,902,000 | 24,422,000 | △ 520,000 |
| 18 案内所・ショップなは事業 | 24,474,000 | 32,621,600 | △ 8,147,600 |
| 19 その他事業(自主事業) | 1,000,000 | 122,000 | 878,000 |
| 合 計 | 273,588,000 | 289,753,600 | △ 16,165,600 |

支出の部

| 費 目 | H31年度予算額 | H30年度予算額 | 増 減 額 |
|---------------------|-------------|-------------|--------------|
| 1 那覇市運営補助金 | 49,366,000 | 45,900,000 | 3,466,000 |
| 2 那覇市事業補助金 | 2,902,000 | 2,920,000 | △ 18,000 |
| 3 観光案内所運営補助金 | 35,843,000 | 35,028,800 | 814,200 |
| 4 観光まちづくり整備事業 | 33,100,000 | 36,000,000 | △ 2,900,000 |
| 5 クルーズ船臨時観光案内事業 | 10,919,000 | 10,859,000 | 60,000 |
| 6 外国人観光客受入整備事業 | 27,046,000 | 25,593,000 | 1,453,000 |
| 7 那覇の祭り支援事業 | 12,937,000 | 12,336,000 | 601,000 |
| 8 【新】観光協会ホームページ強化事業 | 2,700,000 | | 2,700,000 |
| 9 観光情報誌 NAHA NAVI | 7,199,000 | 7,213,000 | △ 14,000 |
| 10 修学旅行受入事業 | 231,000 | 500,000 | △ 269,000 |
| 11 旅行業観光券取扱事業 | 100,000 | 300,000 | △ 200,000 |
| 12 その他事業 | 6,242,000 | 1,820,700 | 4,421,300 |
| 13 松山公園福州園管理事業 | 39,400,000 | 54,370,000 | △ 14,970,000 |
| 14 波の上ビーチ広場管理事業 | 23,802,000 | 23,000,000 | 802,000 |
| 15 案内所・ショップなは事業 | 18,233,000 | 29,900,000 | △ 11,667,000 |
| 16 その他事業(自主事業) | 2,630,000 | 2,890,800 | △ 260,800 |
| 合 計 | 272,650,000 | 288,631,300 | △ 15,981,300 |

| | | | |
|-------------|-------------|-------------|--------------|
| 収 入 合 計 | 273,588,000 | 289,753,600 | △ 16,165,600 |
| 支 出 合 計 | 272,650,000 | 288,631,300 | △ 15,981,300 |
| 収 支 差 額 合 計 | 938,000 | 1,122,300 | △ 184,300 |